

篆刻研究 選評：佐藤燐水

次号課題 「丙午」

早いもので、令和も七年歳晩を迎えることとなった。

そこで、落款の参考になればと思い、来月の課題は今年の干支である「丙午」とした。

昨年書いたが、干支は「十干十二支」あるいは「天干地支（てんかんちし）」ともいい、十干と十二支を組み合わせた六十を周期とする数詞のことをいう。

来年の干支は音読みで「へいご」、訓読みで「ひのえうま」と読む。むかしから「ひのえうま」は出生率が低下すると言われている。人口減少が危惧されるころだ。

参考作品



優秀作品



荒井湖山

金文をつかった古風の佳印。



藤田秋風

厳しい線で余白を引き締めている。



中島嶺北

甲骨文字を大胆に用いたユニークな作。



金尚吉

ハングルの印、重厚な線が魅力。

● 出品資格特に制限なし。

● 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。

● 印影を白の半紙1／4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。

● 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。